

白山市立松任中川一政記念美術館 開館40周年記念特別展
「中川一政 画業77年の旅路ー処女作から絶筆までー」関連イベント

記念俳句会

俳人・大高翔さんをお迎えして



《春光》1915年 真鶴町立中川一政美術館蔵

「絵の前に立ち、あるいは絵の中に入り、
感じたことを小さな言葉に。」(大高翔)



《きょうだい》1965年

中川一政作品からイメージを膨らませ、俳句を詠んでみませんか。

女流俳人・大高翔さんを講師に迎え、美術館内を吟行して俳句会を開催します。

初心者の方でも大丈夫です。絵画と文学が融合する豊かなひと時をどうぞお過ごしください。



《薔薇》1989年

令和8年

11月1日(日) 13:30～15:30

ところ：松任中川一政記念美術館および千代女の里俳句館

定員：20名(申込順)

会費：1,000円(※別途入館料400円要)

申込開始：[一般] 10月6日(火)～

[友の会・博遊会会員] 9月29日(火)～

電話または電子申請でお申込みください。電子申請はこちらから≫

白山市電子
申請サービス



大高翔 おおたかしょう

俳人。藍花俳句会主宰。俳人協会幹事。

JAL 財団「世界子どもハイクコンテスト」審査委員長(2022年～)など。

徳島県に生まれ。13歳より作句。句作を中心に、エッセイの執筆、校歌歌詞などを手がける。子供たちや初心者への作句指導に取り組み、国内外で俳句ワークショップを開催し、日本文化の魅力を伝えている。

著作に、第四句集『帰帆』(2016年度「第一回俳句大学大賞」受賞作)、『ゼロから始める俳句入門』ほか。

2010年度「徳島県阿波文化創造賞」、2021年度「第14回とくしま芸術文化奨励賞」受賞。

【お問い合わせ／お申し込み】 白山市立松任中川一政記念美術館

電話／FAX：076-275-7532[月曜休館] 〒924-0888 白山市旭町61-1(松任駅 南口横)